

日本画家・インド美術研究者 畠中光享氏の新作を含めた優品約100点を展示

## 企画展「畠中光享 日本画展 清浄光明を描く」開催

会期：Ⅰ期 2025年3月8日（土）～4月20日（日）/Ⅱ期 4月23日（水）～6月22日（日）

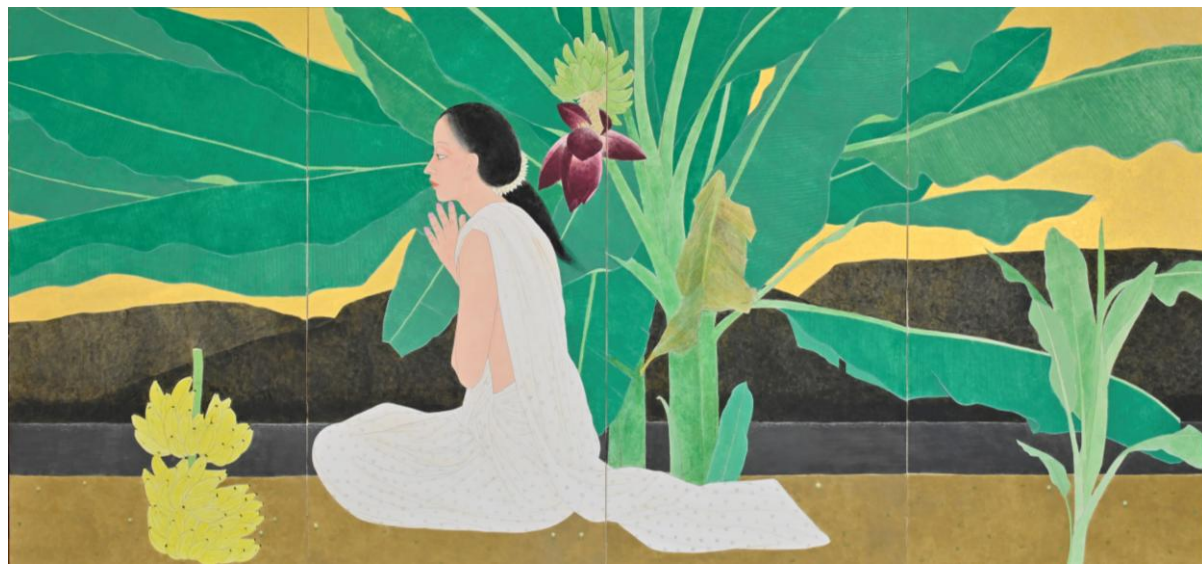
会場：相国寺承天閣美術館（京都市上京区今出川通烏丸東入）

相国寺承天閣美術館（京都市上京区）は、日本画家・インド美術研究者の畠中光享（はたなか・こうきょう）氏の新作を含めた優品約80点を展示する企画展「畠中光享 日本画展 清浄光明を描く」を、Ⅰ期2025年3月8日（土）～4月20日（日）、Ⅱ期4月23日（水）～6月22日（日）の会期で開催いたします。

畠中光享（はたなか・こうきょう）氏は、奈良の寺院で生まれ、大谷大学文学部史学科、京都市立芸術大学日本画専攻科を修了後、京都にアトリエをかまえ、インドの仏伝（釈尊の伝記および思想）をテーマに創作を行っている日本画家です。

1974年のインド初訪問から100回以上の渡印を重ね、インドのミニアチュール絵画（細密画）や染織品・彫刻の研究と収集を続けるインド美術研究者でもあります。既成の団体展には所属せず、実験的なグループ展を自ら立ち上げ、仏教を主題に対象を徹底して調べ上げ、細やかな線描と鮮やかな色彩による独自の日本画を創作し続けています。

本展では仏教の本質に迫ろうと制作を続ける畠中氏の新作を含む優品を多数紹介します。概要は以下のとおりです。



「バナナ供養（ケーラパーリ）」部分 2023年

見どころ① 作家の地元・京都での大展覧会

見どころ② 新作・近作と貴重な初期作品数点を含む約80点の大作を展示

見どころ③ 禅寺で仏教を題材にした日本画を紹介

### 本件に関する報道関係者様お問い合わせ先

相国寺承天閣美術館 広報事務局（TMオフィス内） 担当：馬場・永井・西坂

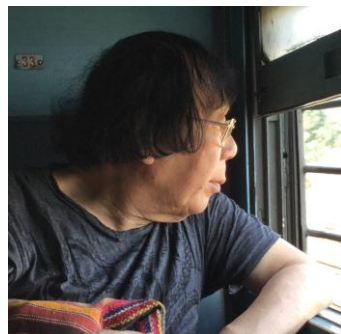
MOBILE:090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）

TEL:050-1807-2919 FAX:050-1722-9032 E-MAIL: [shokokuji@tm-office.co.jp](mailto:shokokuji@tm-office.co.jp)

## 畠中光享 略歴

### 畠中光享（はたなか・こうきょう）

1947年奈良県生まれ。  
1970年大谷大学文学部史学科を卒業後、京都市立芸術大学専攻科を修了。1977年シェル美術賞展一等賞、1978年第1回東京セントラル美術館日本画大賞展大賞、京都府文化賞功労賞など受賞歴多数。  
2018年興福寺中金堂法相柱祖師像を制作・奉納。  
2021年東本願寺御休息所襖絵を制作・奉納。



## 見どころ

### 見どころ①

#### 作家の地元・京都での大展覧会

個展としては京都で唯一の大展覧会。会派に所属せずグループ展だけで大作を発表し続けてきた集大成となる。

### 見どころ②

#### 新作・近作と貴重な初期作品数点を含む約100点を展示

現在も精力的に創作活動を行っている作家の新作を中心に紹介。出品作のうち約20点（大作14点）が2024年に制作した作品。

### 見どころ③

#### 禅寺で仏教を題材にした日本画を紹介

禅寺での開催ということで、「達磨」を題材にした新作2点を制作。  
一般には公開されることのない真宗大谷派（東本願寺）御休息所に奉納した襖絵も展示。

## おもな展示作品

### ◆ 通期展示 ◆



「禪定達磨」 2024年

白隠の絵のせいか大きく目を見開いた姿が多い達磨だが、禪の初祖らしく禪定の姿で描いた。

### ◆ I 期展示 ◆



「東本願寺 御門首側襖絵 成道聖地遙拝」部分  
2018年 東本願寺蔵

2019年に真宗大谷派（東本願寺）御休息所に奉納。尼蓮禪河を廊下に見立て西側襖に成道聖地遙拝、東側襖絵に前正覚山を描いた。



「濁水に汚されない蓮のように」部分 2014年  
蕾から開花し種を宿すまでの蓮を描いている。



「悲しみの刻」 2024年  
悲しみは自分の心の中と共に反戦の象徴として描いた。

### ◆ II 期展示 ◆



「食」 1973年

インドに行く1974年までは身の周りの事しか描けなかった。そのためその前の2年間は自画像を多く描いた。



「一灯」 2015年

釈尊の成道の地、ブツガヤの境内は夜になると献げられた灯明で埋め尽くされる。富んだ人は万灯を貧者は一灯を。それらの人々の想いが集まって境内が荘厳されている。

## 開催概要

名称：畠中光享 日本画展 清浄光明を描く

会期：Ⅰ期：2025年3月8日（土）～4月20日（日）

Ⅱ期：2025年4月23日（水）～6月22日（日）

休館日：4月21日（月）、4月22日（火）

開館時間：10:00～17:00（入館は16:30まで）

拝観料：大人 1,000円、大学生 600円、中高生 300円、小学生 200円

※団体割引・シニア料金は設定なし

会場：相国寺承天閣美術館（京都市上京区今出川通烏丸東入ル）

主催：相国寺承天閣美術館、日本経済新聞社

協力：MBS テレビ

## 関連イベント

### ○講演会

開催日：3月15日（土）「日本画の歴史と今後の日本画を考える」

5月 3日（土）「日本画の問題点」

5月31日（土）「過去から日本画の可能性を考える」

開催時間：13:30～15:00

### ○ギャラリートーク

開催日：Ⅰ期 3月22日（土）・4月12日（土）・4月19日（土）

Ⅱ期 5月10日（土）・5月24日（土）・6月14日（土）

開催時間：14:00～15:00

### 本件に関する報道関係者様お問い合わせ先

相国寺承天閣美術館 広報事務局（TMオフィス内） 担当：馬場・永井・西坂

MOBILE:090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）

TEL:050-1807-2919 FAX:050-1722-9032 E-MAIL: [shokokuji@tm-office.co.jp](mailto:shokokuji@tm-office.co.jp)